

結成15周年式典・躍進のつどい

100人を超える参加で盛会



CU東京は、結成15周年式典・躍進のつどいを1月14日(日)けんせつプラザ東京において開催し、来賓を含め100人を超える参加で盛大に催されました。

開口一番は、前進座のみなさんによる口上と

踊りでにぎやかに、あでやかに開始しました。会場は、拍手喝采、盛り上がりました。

第一部の冒頭に佐藤委員長は、元旦に発生した能登半島地震で被災された方へのお見舞いと救援、復旧を願うと発言しました。



佐藤委員長

CU東京は、結成以来、憲法を働く者の暮らしと職場に活かすことを求め、今年は1800人、そして3000人の組織めざして、運動を前進させていく決意を表明しました。個人加盟の地域組織としての特性と利点を活かし、権利と団結、地域と社会を変える大きな運動にまい進いたします。共に団結して頑張りましょう。



そして、CU東京も加盟している闘う労働組合の全国組織、ナショナルセンターの全国労働組合総連合から仲野智常任幹事、東京における賃金・春闘運動の中心、未組織の組織化を担う東京地評から井澤智事務局長、個人加盟の地域組織としては、77年の歴史と10万人の組織を持つ東京土建一般労働組合から松本久人副委員長から、励ましのご挨拶をいただきました。



全労連仲野さん



東京地評井澤さん



東京土建松本さん

また、憲法と平和を守り、労働者と都民の権利獲得の先頭に立つ日本共産党宮本徹衆議院議員、とやえつこ都議会議員が、ご出席され、代表して、



宮本徹衆議院議員、
とやえつこ都議

日本共産党宮本徹衆議院議員から、ご挨拶をいただきました。

第一部の最後に、CU東京が創立から15年を歩んできた道、活動の報告を、白滝書記長が行いました。当日配布しました記念誌「仲間とともに15年、新たな地平をめざす」の紹介もしました。



白滝書記長



第二部は、市瀬初代委員長が駆けつけ、能登半島地震の被害がまだ広がっている中で、発声無しの乾杯を行いました。

日ごろよりお付き合いのある多くの来賓の方々、すべての支部、準備支部の組合員の皆さんから、一言ずつ、発言をいただきました。「楽しい組合活動」「多岐にわたる労働相談」など、各支部から発言がありました。

労働相談でお世話になっている法律事務所からのご挨拶、埼玉ユニオンや神奈川地域労組協議会など県外団体、都内労働組合、女性団体、地域労連、元役員の皆さんからも、それぞれの激励をいただき、今後の連携を確認しました。

CU台東準備会の山田さんは、1人の新期加入の報告と、今年には正式に支部を立ち上げることを語り、会場は大きな拍手に包まれました。各支部から元気な支部の紹介が行われました。



関根元書記長



高木前書記長





熱唱する大熊さん

再び前進座の皆さんの登場で、またも会場が、華やかになりました。そして、サプライズゲストのシンガーソングライターの**大熊啓さん**と「大東京音頭ーCU東京バージョン」を歌と踊りで盛り上げ

ました。大熊さんは、お話を交えて、たたかいの歌をご披露いただきました。3000人組織をめざす、元気の出る会になりました。

最後、参加者全員で**団結ガンバロウ**をして、「がんばろう」の歌をみんなで歌い団結を固めました。「良い会になったね」の感想をいただきました。

24春闘のたたかい

20カ月連続の実質賃金低下 物価高騰を跳ね返す大幅な賃上げを要求し、ストライキを構え、非正規労働者とも連帯した行動を繰り広げます。一つ一つ成功させましょう。

東京春闘決起集会 1月31日 19:00
中野ゼロ大ホール
23区支部から

三多摩春闘決起集会 2月14日 18:30
小金井宮地楽器ホール
三多摩協議会から

中央集会 3月7日 12:00
日比谷野音
多くの支部からの参加しましょう

国際女性デー中央大会 3月8日 18:30
きゅりあん小ホール

回答指定日 3月13日
統一行動・ストライキ支援
3月14日
地域共闘の要請に応じます

重税反対統一行動 3月13日
各地で集会・デモ
地域共闘の要請に応じます

最賃ビッグアクションII 4月10日
12時ころ 厚労省前ほか

メーデー 5月1日
代々木公園 / 井の頭公園

労働組合を地域に広くアピール

2月は、変えるリーフ第4弾の配布。春闘と組織拡大をアピールするチラシを全戸・駅頭で配布する行動が組まれます。CU東京の記事も写真入りで載っています。地域組織と一緒に行動を組みます。

パワハラシステム

ーパワハラの定義と問題点と労働組合の役割ー
三枝繁一江戸川区労連事務局長



パワハラの定義・概念が作られるまでの経過を明らかにして、パワハラの相談するためには、どうするかを、まとめました。今後の対応を考えるためにお読みください。

葛西臨海水族園 再整備を考える 学習交流会



破壊の危機が迫る都政見学学習交流会

再開発で自然破壊の危機にある葛西臨海地域
葛西臨海公園と臨海水族園の見学

2024年2月22日（木）午前11時

JR葛西臨海公園駅集合



見学会の案内 原純子日本共産党都議会議員

主催 コミュニティユニオン東京（CU東京）女性会議

どなたでも参加できます

お申し込みは CU東京 電話 03-3946-9277 メール staff@cutokyo.jp

多くの人々に親しまれる

葛西臨海水族園

世界初のクロマグロの群が泳ぐ展示、600種を超える海の生き物と出会える水族園として、多くの人たちにたのしまれ、年間140万人もが来場している葛西臨海水族園です。

施設の老朽化とバリアフリー対応、飼育環境の整備を理由に建て替え計画が決まりました。

都民の憩いの場であり、生物多様性を体験する貴重な場である都立公園と葛西臨海水族園が、これからも役割が果たせるよう、整備事業について情報を発信していきます。

（原純子都議）

小池知事の都政は、本当に都民の私たちの声を聞いているのでしょうか。今年は都知事選挙です。皆さんとご一緒に、見学しながら、都政のことを考え交流しましょう。

CU東京結成15周年の集いでは集合写真の笑顔に歴史が刻まれていた。リーマンショックの最中に準備し、翌年に結成。2年後には東日本大震災、大阪北部と熊本の震災、毎年の水害にコロナ禍…安心の生活が奪われてきたこととの闘いでもあった。■能登半島地震では道路が寸断、孤立集落に深刻な事態が集約されている。避難所の劣悪な環境は阪神淡路大震災のころから変わっていない。災害大国で防災や国土保全が疎かにされてきたのは政治の責任だ。■自衛隊の存在に賛否はあるが、余震を尻目に空挺部隊の大訓練をした。素人考えだがパラシュートで物資の投入、港が隆起して使えぬなら孤島強襲用の舟艇は使えなかったのか。■孤立集落は鉄道と路線バスの廃止・縮小、雇用と産業の偏り、高齢化に要因があるが、山間部に人が住まなくなると山は荒れるという。「ポツンと一軒家」の役割も大切だ。個々の人間の営みを尊重するかしないかが、災害対策に現れている気がする。